

平成24年度市民ワークショップ 検討結果  
**(4) 第3回市民ワークショップ**



## 第3回 市民ワークショップ

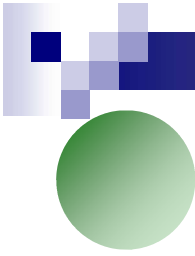
---

### ○各グループにおける検討結果（午前の部）

第1班	-----	46
第2班	-----	47
第3班	-----	48

### ○各グループにおける検討結果（午後の部）

第1班	-----	50
第2班	-----	51
第3班	-----	52



## 各グループにおける検討結果（午前の部）

---

### <第1班の皆さん>

小澤（奈）さん  
勝田さん  
貴田さん  
佐々木さん  
中村さん  
芳賀さん  
早坂さん  
廣川さん  
山崎さん  
吉田さん

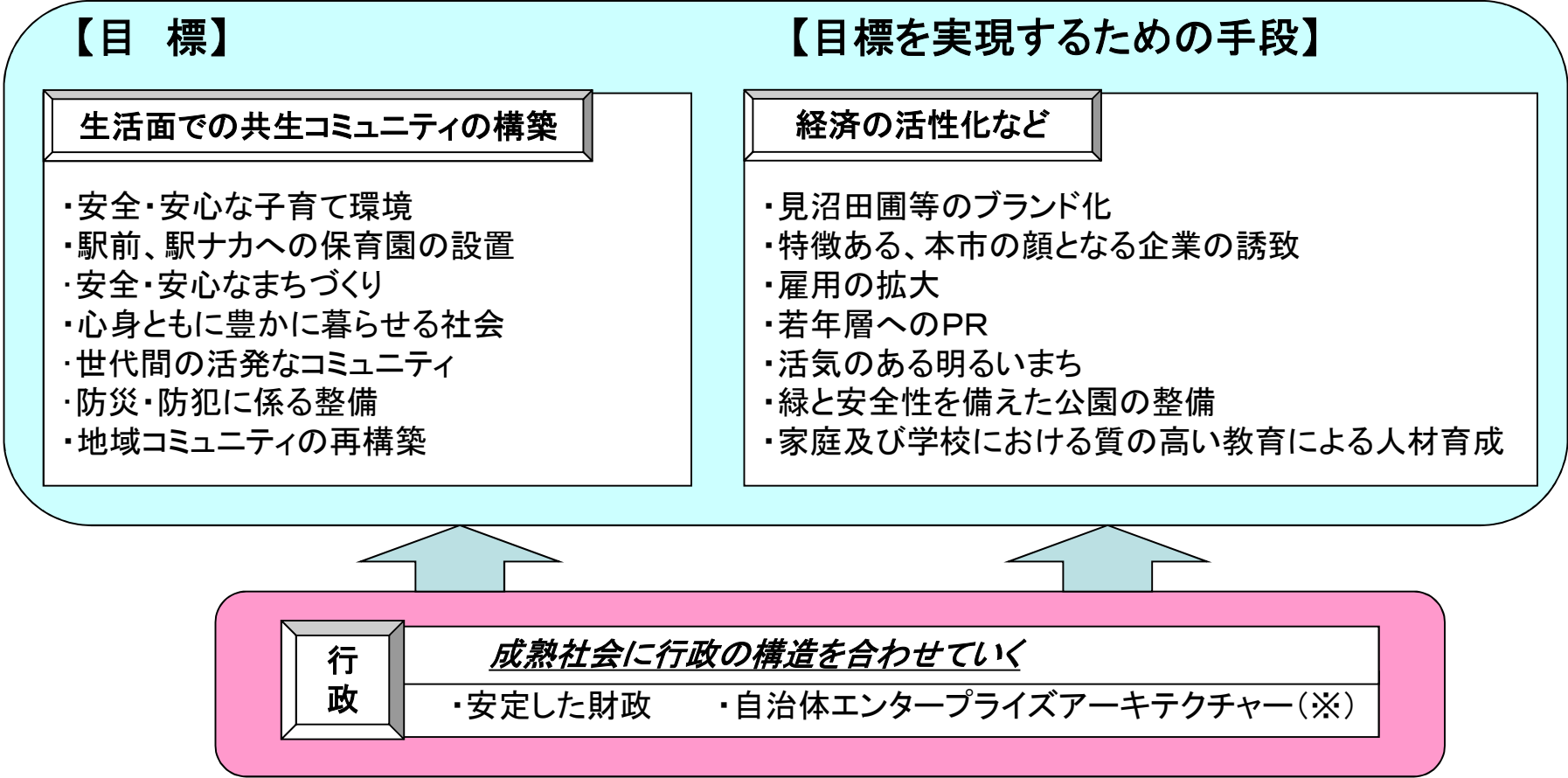
### <第2班の皆さん>

家田さん  
市川さん  
伊東さん  
榎本さん  
江原さん  
寺下さん  
中森さん  
福島さん  
細田さん  
宮本さん  
矢吹さん

### <第3班の皆さん>

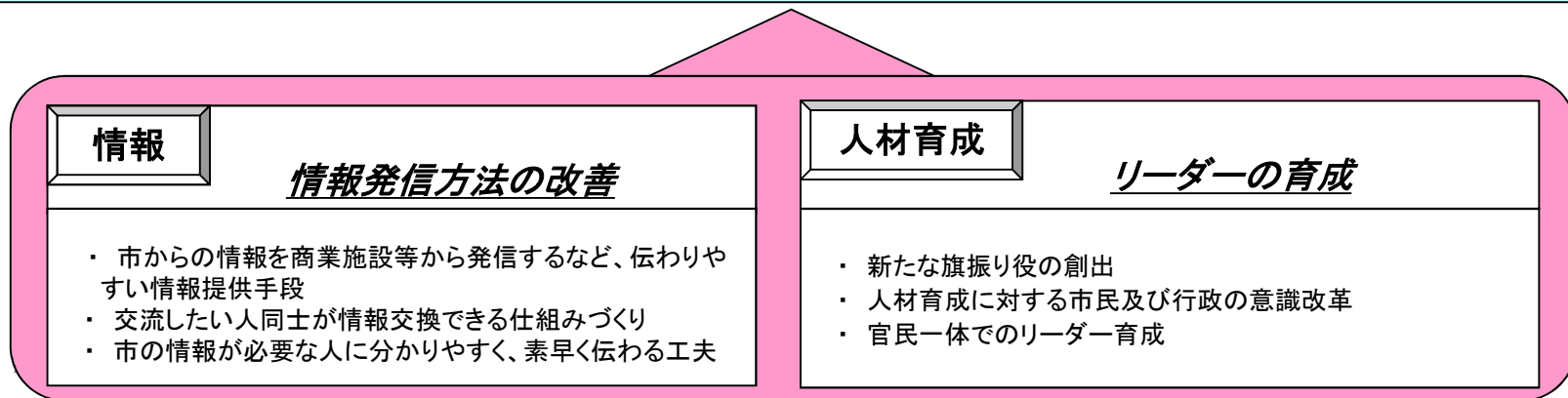
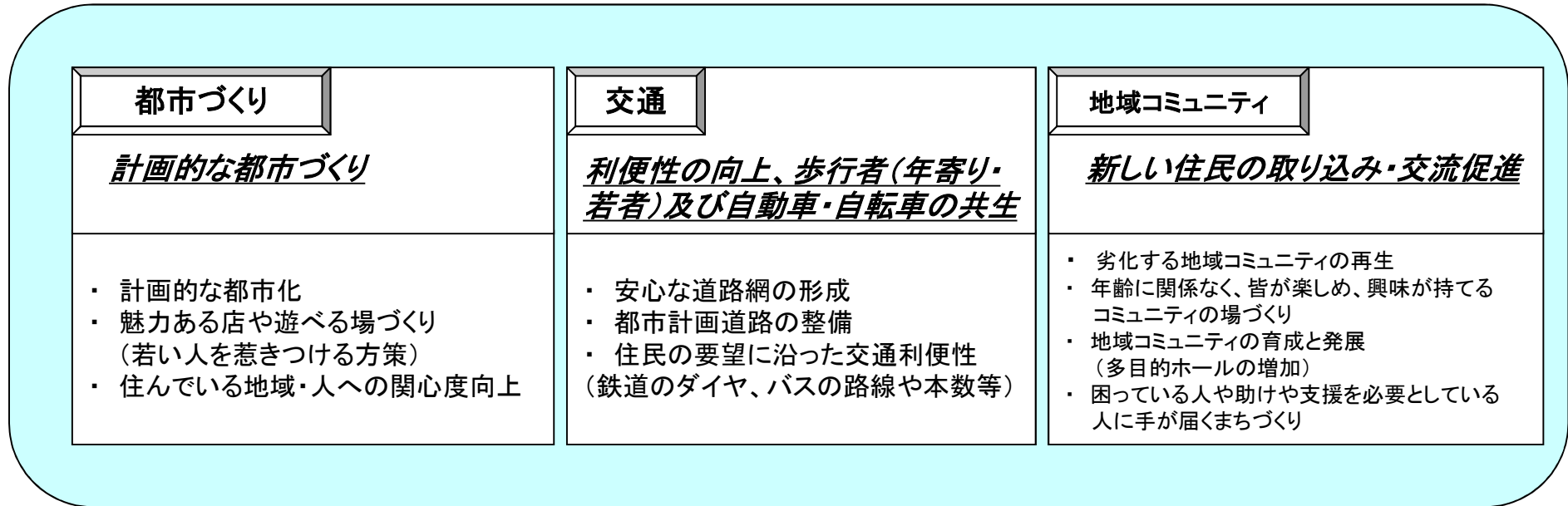
櫛田さん  
大沼さん  
小澤（良）さん  
古口さん  
小林（公）さん  
佐川さん  
澤井さん  
沢本さん  
高橋さん  
高見さん  
辻さん  
根本さん

## <10年後、20年後を見据え、さいたま市において最も重視すべきこと>

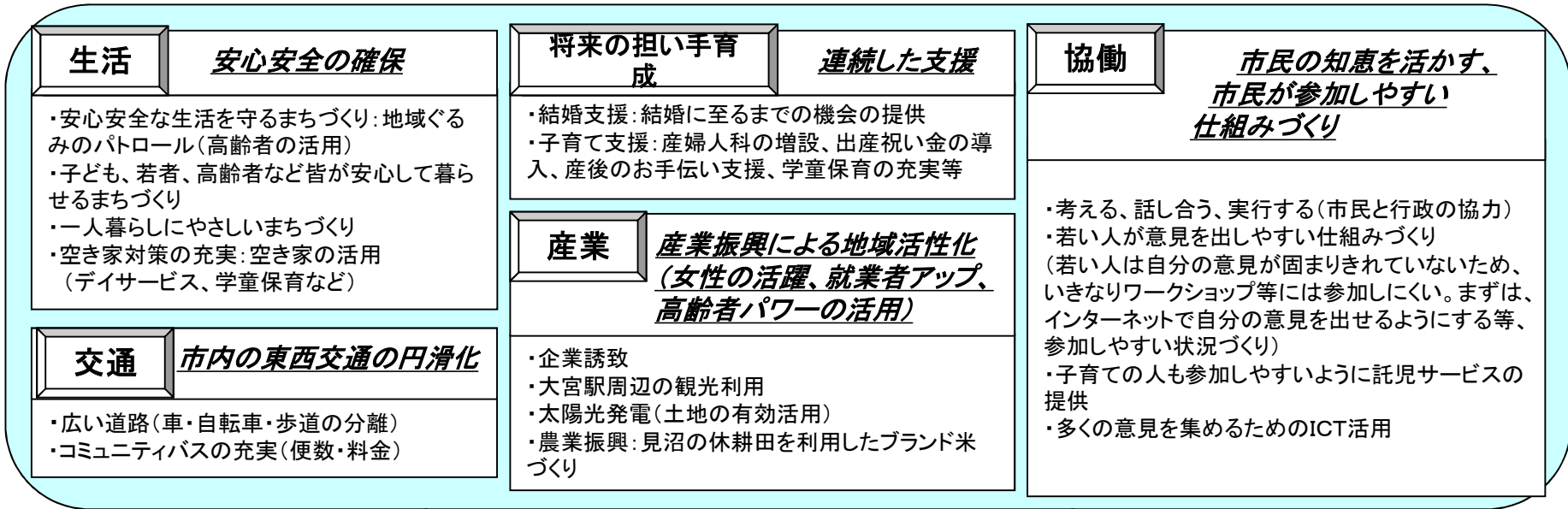


※従来は紙や口頭で行っていた業務を含め、地方自治体における行政改革の視点を取り入れ、仕事のやり方自体の見直しはもちろん、どこまでの業務を情報システムでカバーするか、住民の視点に立ったワンストップサービスをどう実現するかといったことも勘案して業務・システムの一体的な改革を目指すもの。(出典:総務省ホームページ)

## <10年後、20年後を見据え、さいたま市において最も重視すべきこと>



## <10年後、20年後を見据え、さいたま市において最も重視すべきこと>



**【実施方針】**

- ◆ハードは、既存を効果的に活用
- ◆ハードよりソフトを重視
- ◆人のつながりを活かした取組み
- ◆さまざまな仕組みづくり

**新たな担い手の活用**

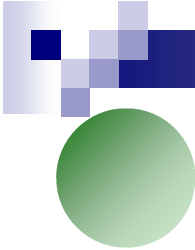
- NPO等の活用
- 高齢者の活用

⇒ 現役時代に東京勤務で培った技術・知恵を地域に還元

- ・高齢者の技術や知恵の活用(パトロールなどの地域の安全確保、学童支援等の子育て支援、産業振興等)
- ・高齢者の活用法とコーディネートする組織の充実

**行政**      コーディネーター機能の向上

- ・行政情報のPR   地域格差の縮小(旧市政の違いを是正)   さまざまな仕組みをつくる等のコーディネートを担う



## 各グループにおける検討結果（午後の部）

---

### <第1班の皆さん>

上田さん  
加藤さん  
門脇さん  
新藤さん  
田中さん  
千綿さん  
野田さん  
檜垣さん  
平岡さん  
星野さん  
山本さん

### <第2班の皆さん>

赤保さん  
小林（二）さん  
小林（玲）さん  
佐藤さん  
清水さん  
須賀さん  
鈴木さん  
中川さん  
中鶴さん  
二敷さん  
萬年さん

### <第3班の皆さん>

加賀谷さん  
清家さん  
徳山さん  
本郷さん  
丸中さん  
守屋さん  
吉川さん  
渡邊さん

## <10年後、20年後を見据え、さいたま市において最も重視すべきこと>

### 【目的】 共生するまち：「自然」、「高齢者、若者」、「市民、企業、行政」

#### 地域コミュニティ

- ・地域交流の活性化
- ・人・情報のネットワークづくり
- ・安心して暮らせるまち(教育、介護、子育て)
- ・出産・子育てしやすい環境づくり(保育園・学童保育の充実、病児保育の不足解消)
- ・子育てしながら働ける環境づくり
- ・介護施設の運営、内容、実態の把握
- ・各世代が参加する地域づくり、参加を募る情報発信

#### 自然

- ・緑を大切にしたまちづくり
- ・自然を活かしたまちづくり

#### ユニバーサルデザインシティ・バリアフリー

- ・段差のないまちづくり
- ・道路の拡幅やバリアフリー化(歩道の整備)
- ・駅のエスカレーター設置(中浦和駅など)
- ・高齢化時代の老人の守る方法の推進  
(バリアフリー化、ICT基盤の活用)

#### 産業

- ・大宮駅東口の再開発事業の推進
- ・雇用の創出
- ・魅力あるまちづくり(産業、雇用、子育て、高齢者へのサポート)

### 【手段】

#### 実行力

- ・草案を実現に向けて実行していく
- ・住民力を活かして住みたいまちをつくる

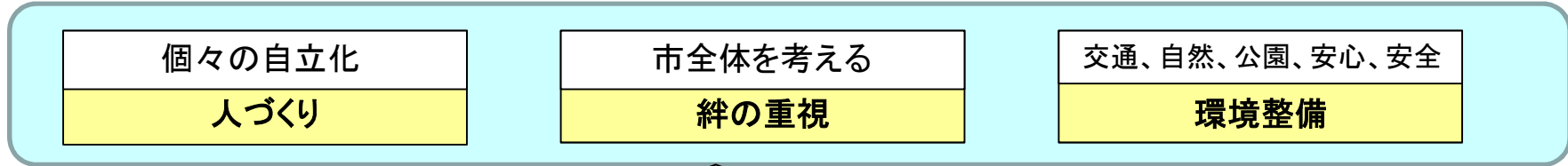
#### 情報

- ・アピール力の強化(自信をもつ)
- ・情報公開(やさしい伝達)

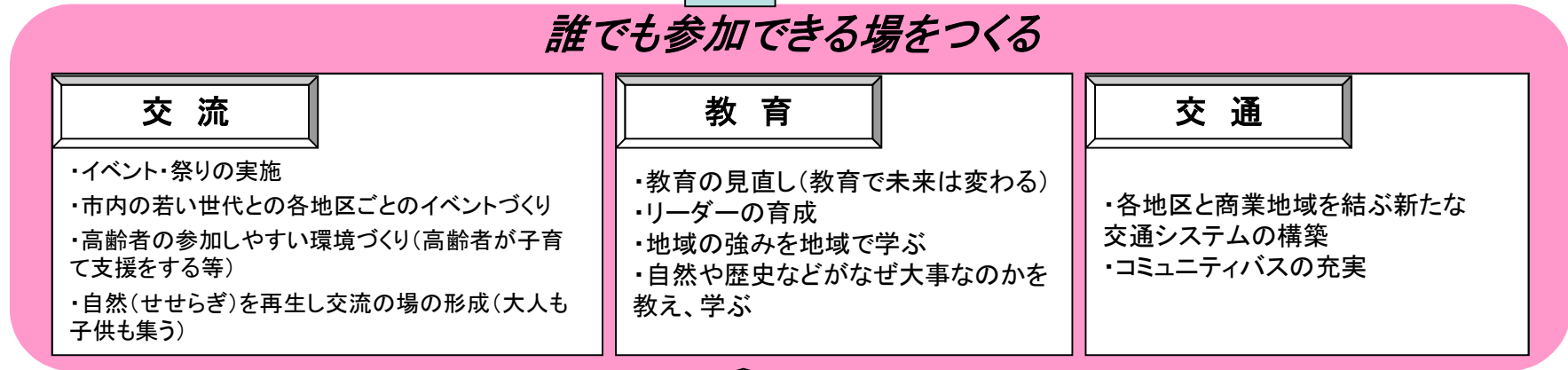


## <10年後、20年後を見据え、さいたま市において最も重視すべきこと>

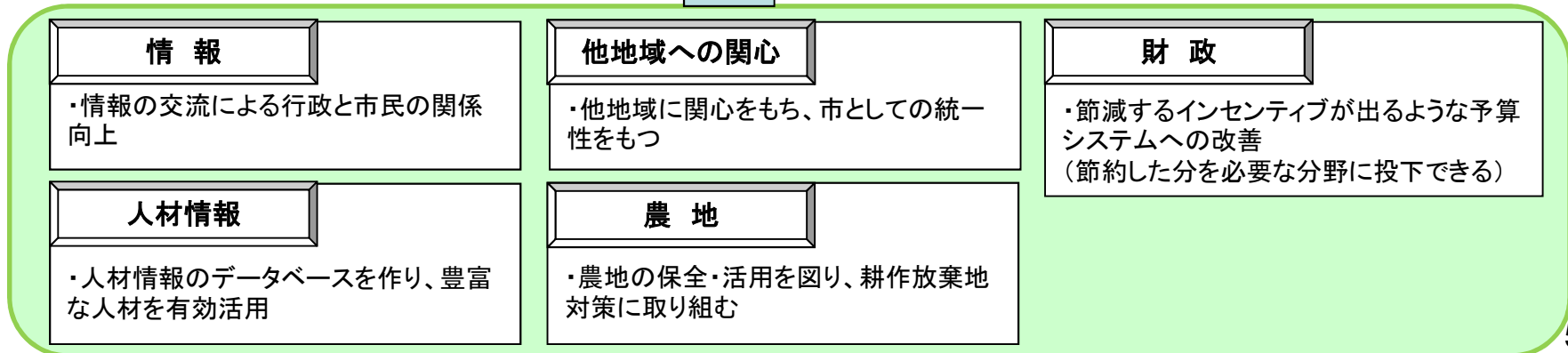
### ○コンセプト



### ○方向性



### ○具体策



## <10年後、20年後を見据え、さいたま市において最も重視すべきこと>

### ○目標

<b>まちづくり</b> <u>住んでよかった街づくり</u> ・住み心地のよいまちづくり ・安全なまちづくり(災害時施設を兼備した公園または広場) ・自然と文化の残っているまち	<b>地域への誇り</b> <u>地域を誇れる街</u> ・ブランド化 ・アイデンティティの醸成	<b>人材活用</b> <u>意欲あるボランティアを有効活用</u> ・シルバー世代の有効活用 ・人材の登録制(やりたい人、やってほしい人)
---	---	---

### ○手段

<b>情報</b> <u>情報の共有化・有効活用</u> ・市民が相談しやすい環境づくり ・HP等の更なる改善	<b>PR</b> <u>更なるPR活動</u> ・商業効果の得られる活動を通じたPR(例 サッカー以外の有料イベントの開催) ・他県から転居者の誘致につながるPR(さいたま市発祥の創出、教育の充実等)	<b>地域学</b> <u>地域の歴史を学ぶ</u> ・地域や学校で学ぶ機会の提供
<b>&lt; 可能であれば望むこと &gt;</b>		
<b>交通</b> <u>交通の充実</u> ・交通網の整備(利便性の向上) ・安全な道路環境	<b>拠点整備</b> <u>道の駅の整備</u> ・農業の活性化 ・高齢者の活躍の場の創出 ・地産地消の推進	